

# 西大和つうしん

2019年9月号

No.447



前劔の門手前の岩峰をトラバース《2019. 8. 1》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

# 西大和つうしん

第447号(2019年9月号)

## 【目次】

9 月度山行計画.....	1
10 月度山行計画.....	2
9・10 月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《7/21》 鈴鹿山脈 御池岳(杉森).....	5
・自主山行 《7/31~8/3》 北アルプス 剣岳・立山連峰(中・杉森・永井).....	6

## 9 月 度 山 行 計 画

～大峰奥駈道の秀峰行者還岳へ～

### 例会山行2 大峰山脈 《行者還岳》 1,546.2m

【日 程】9月1日(日) (L林)

【集 合】上牧役場前駐車場 6:00

【コース】行者還トンネル西口P(9:00)～奥駈出合(10:20)～一ノ埜(10:50)～行者還小屋(12:00/30  
昼食)～行者還岳(13:00)～行者還小屋(13:40)～一ノ埜(15:00)～トンネル東口(16:00)～  
トンネル西口駐車場(16:20)

※ 歩行時間：約6時間30分 歩行距離：約12km

～なだらかな稜線が美しい「近江富士」へ、琵琶湖・比良山系が一望～

### 例会山行1 湖南の山 《三上山》 432m

【日 程】9月8日(日) (L永井)

【集 合】JR 王寺駅 8:05 (8:15 大阪行に乗車)

王寺 8:15⇒8:53 大阪 9:00⇒10:00 野洲

【コース】野洲駅～御上神社～表登山道登山口～妙見堂跡～三上山～こかげの科尔～田中山分岐  
～明光寺山～山摩崖仏～稻荷神社～野洲駅

※ 歩行時間：約4時間30分

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合い等で登山に興味ある人がいらっしゃいましたら、是非お声掛けをお願いします。

～台高の奥深くにあり自然と対峙できる山～

### 例会山行3 台高山脈 《池木屋山》 1,395.9m

【日 程】9月15日(日) (L船江)

【集 合】上牧役場前駐車場 5:30

【コース】宮の谷駐車場～(70)～風折谷出合～(60)～奥の出合～(1h45)～池木屋山～(40)～霜降山  
～(30)～P1222～(70)～P866～(60)～宮の谷駐車場

※ 歩行時間：約7時間15分

## 10月度山行計画

～会では初めてのバーベキュー山行！ 宴会です！

秋のひと時楽しみましょう！！ ご参加お待ちしております～

### 例会山行1 生駒山地 《府民の森 くろんど園地》

【日 程】10月13日（日）（L野路）

【集 合】JR 王寺駅 7:30

【コース】河内磐船駅～(1h15)〔獅子寺コース〕～キャンプ場（宴会）～(1h05)〔かいがけの道〕～河内磐船駅

※ 歩行時間：約2時間20分 歩行距離：3.5 km

※ 会費：約2,500円前後（参加者人数で割ります）

～テント泊の醍醐味を一緒に楽しみましょう～

### 例会山行2 中国山地 《蒜山高原》 1,202m

【日 程】10月19日（土）～20日（日）（L杉森）

【集 合】王寺駅南口 6:00 出発

19日（土）：王寺駅⇒(車)⇒塩釜キャンプ場 10:00 着（テント設営）昼食

塩釜キャンプ場 12:00～(5)～塩釜登山口～(1h15)～中蒜山 1,123m～(1h)～塩釜登山口～(5)～塩釜キャンプ場（テント泊）

※ 歩行時間：約2時間25分

20日（日）：塩釜キャンプ場 7:00⇒(車)⇒百合原登山口～(1h15)上蒜山 1202m～(40)～中蒜山～(1h)～塩釜登山口～(5)～塩釜キャンプ場 11:00（テント撤収）

塩釜キャンプ場 13:00⇒(車/途中入浴)⇒王寺 18:00 頃

※ 歩行時間：約3時間

※ キャンプ場まで車でいきますので、1・2日目とも、必要なものだけで登山します。

～「県連交流山行、福知山線廃線ウォーキング」のご案内～

福知山線廃線ウォークです。他会の方々と廃線になった線路跡を歩き、紅葉の季節を楽しんで頂ける手軽なハイキングコースです。

### 例会山行3（交流山行） 福知山線 《廃線ウォーキング》

【日 程】10月27日（日）（L島崎）

【集 合】JR 西宮名塩駅 10:00（現地集合）

【コース】JR 西宮名塩駅～北山トンネル～長尾山トンネル～親水公園～JR 武田尾駅（解散）

※ 親水公園上を散策致します。

※ 歩行時間：約5時間（休憩時間含む）、歩行距離：約10 km

【交 通】（参考）JR 王寺駅発着（8:20 JR 王寺駅改札口集合）例

往路：王寺 8:31⇒(大和路快速)⇒9:08 大阪 9:20⇒(丹波路快速)⇒9:50 西宮名塩

復路：①武田尾 15:00⇒15:08 宝塚 15:11⇒15:36 大阪 15:43⇒16:18 王寺

②武田尾 15:30⇒15:38 宝塚 15:41⇒16:06 大阪 16:13⇒16:49 王寺

※ 参加は、歩きやすい服装と靴でお願いします。

※ 持ち物：昼食弁当・飲み物・シート・コップ・雨具・ヘッドランプ

トンネル内を通りますので、ヘッドランプ又は懐中電灯を必ずご持参願います。

# 西大和山の会 カレンダー

9月			10月		
1	日	例会山行2《行者還岳》(林)	1	火	県連理事会
2	月		2	水	
3	火	県連理事会	3	木	
4	水		4	金	
5	木		5	土	
6	金		6	日	
7	土		7	月	
8	日	例会山行1《三上山(近江富士)》(永井)	8	火	
9	月		9	水	
10	火		10	木	
11	水		11	金	
12	木		12	土	
13	金		13	日	例会山行1《府民の森 くらんど園地》(野路)
14	土		14	月	
15	日	例会山行3《池木屋山》(船江)	15	火	
16	月	西大和つうしん原稿締切	16	水	
17	火		17	木	
18	水		18	金	
19	木		19	土	例会山行2・テント泊山行《蒜山高原》(杉森)
20	金		20	日	
21	土		21	月	
22	日	9月度室内例会・暑気払い	22	火	
23	月		23	水	西大和つうしん原稿締切
24	火		24	木	
25	水		25	金	
26	木		26	土	
27	金		27	日	例会山行3・交流山行《福知山線廃線ウォーク》(島崎)
28	土		28	月	
29	日		29	火	
30	月		30	水	10月度室内例会
			31	木	



# 山行報告

自主山行

鈴鹿山脈 **御池岳** 1,247m

【日 程】7月21日(日) 雨後曇り

【参加者】L 島崎・SL 杉村・亀高・船江・野路・杉森(6名)

【コースタイム】コグルミ谷出合(8:50)～カタクリ峠(10:05)～ポタンブチ(11:48)～山頂手前(11:55/12:22 昼食)～御池岳(12:30)～鈴北岳(13:15)～鞍掛峠(14:07)～鞍掛トンネル東口(14:25)～コグルミ谷出合(14:45)

急遽、夏山訓練の意味も含めて自主山行となった。台風の影響もあり、登山口に着いた時には小雨が降り出した。雨具を付け、しっかり蛭対策をして出発する。ほどなくして道に蛭を見つける。出て来るのを予想してはいたが、いつ見ても気持ちのいいものではない。この後、何人かは顔や足に被害を受けることになる。登り始めから急登が続くが、次第に緩やかになり、約1時間で5合目に着いた。途中、小枝に可愛いリスを発見、これは楽しい出合いだ！皆一斉にシャッターを切る。付近一帯は雑木林が広がっており、秋にはリスが栗を食べに多く集まって来るのだろう。



やがて、御池岳特有の石と苔の道になる。また、所々粘土質の斜面があり、滑りやすく歩きにくい。登り詰めると笹の広がる高原となるが、霧のため展望がほとんどない。晴れたら素晴らしい展望が眺められる高原台地西側のポタンブチまで行く。Uターンして御池岳山頂に到着。休日とあって10名程の登山者が休憩していた。鈴北岳に向かう。この台地にはいくつもの小さな池が点在し、これが山名の由来となっている。ある池の上の木の枝先に、たくさんのモリアオガエルの卵塊を見つけた。台地の中ほどにある、苔むした岩の点在する「日本庭園」を通り抜ける。名前に負けず見事な自然の庭園である。しかし、シダが勢いを増している。将来、苔が絶えてシダで覆われるかも知れない。何か良い防止策がないものだろうか？

鈴北岳からは、緩やかな尾根道が続く。短い急下りを経て、鞍掛峠に着いた。その後、一気に鞍掛トンネル東口まで下った。

今回、鈴鹿山脈最高峰に初めて登ったが、展望はあまり望めなかった。しかし、霧の中の笹と灌木の高原台地には、静かで幻想的な趣があった。また、湿気が多かったが、気温はそれ程高くなく、良い夏山訓練山行になった。

(記：杉森英二)



## 自主山行

# 北アルプス 劔岳・立山連峰

【日程】7月31日(水)～8月3日(土)

劔岳 2,999m・立山連峰(富士ノ折立 2,999m・大汝山 3,015m・雄山 3,003m)

【参加者】L 島崎・SL 野路・橋本・船江・中・杉森・永井(7名)

## 7月31日(水) 晴れ

【コトバ】室堂(11:20)～雷鳥沢(12:15/13:00)～劔御前小屋(14:50)

立山駅に着くと、駐車場はどこも満杯状態でしたが何とか駐車しました。ケーブルカーに乗り込み美女平に到着、さらにバスに乗り換え室堂に着きました。室堂駅で、登山届のポストに計画書を投函しました。外に出ると早速、地獄谷からの硫黄ガスの匂いがしました。エンマ台の立て看板には、濃度による危険度が表示してありました。チングルマの花畑が広がる別世界、観光客に混じり劔御前小屋を目指して上り始めました。百名水に数えられる立山・玉水湧水では、大勢の人がペットボトルに水を入れていました。



最初の上りは比較的緩やかで、雪渓と緑の山肌のコントラストの美しい眺めを楽しみながら上りました。雷鳥沢キャンプ場に到着、椅子とテーブルで優雅に昼食することができました。テント泊をしている人に、水道の水はそのまま飲めると聞き、登山中の水分補給ができることを確認しました。

雷鳥沢からだんだん急登になり、ザレ場と石が多くなりました。登りが辛くなり、全員の

口数が少なくなりました。岩場が多くなり、目的の劔岳が見え始めました。劔御前小屋に到着、大日岳、奥大日岳、これから行く劔岳、真砂岳と雄大な山々が迎えてくれました。劔御前小屋は水事情が悪く、天水が蛇口からちよろちよろと出るのを、手で貯めて何とか手と顔を洗える程度でした。うがい、飲み水用は500ml 400円・2ℓ 900円でした。全員が2ℓを購入して使いました。その他、お湯500mlとお茶500mlは100円でそちらの方が安いです。小屋の窓からはバッチリ劔岳が見えました。(記：中昌子)



## 8月1日(木) 曇り時々晴れ

【コトバ】劔御前小屋(4:55)～劔山荘(6:07/30)～前劔(8:08)～劔岳(10:10/35)～前劔(12:10)～劔山荘(13:30/55)～劔御前小屋(15:40)

曇り空の下、朝食の弁当を持ち出発時間を早めて出発。雪渓を避けて劔沢を下る。劔沢キャンプ場に着く頃には晴れて来出した。50年前、雷雨の中劔沢キャンプ場に辛うじて着いた



ことを思い出した。剣山荘に到着。お花畑に囲まれ、眼前には一服劔、劔岳周辺で最も人気のある山荘というも頷ける。朝食を摂り登り始める。まもなくクサリ場が現れる。一服劔を越え、前劔に着く。目の前に劔岳が大きくそびえ立つ。はるか彼方に、かにのタテバイに登る人達が見える。平蔵の頭を越えて、ようやくかにのタテバイに取り付く。約 70 度の斜度の岩壁が 15m 程

続き、新しいクサリが何本も掛かっている。クサリをしっかり掴み慎重に登れば、危険で怖いという感じはしない。更に岩山を登り詰めて遂に到着。ガスがかかり、残念ながら 360 度の景観は見られなかった。

下山開始。眼下に下るトレースを見ながら、慎重に下って行く。難所のかにのヨコバイに来た。岩壁は 30m 程切れ落ちている。しかし、最初の一步が決まれば、後は足場がはっきりしているので、難なくトラバース出来た。直ぐに垂直に近い長い階段を下る。真新しいステンレス製でとても強固である。前劔では、別れを惜しむかのように劔岳を眺める。左俣からの風が冷たくて気持ち良い。無事剣山荘に到着。冷たい水を何杯も飲み、劔御前小屋へ向かった。

休憩を含めて約 11 時間、天候にも恵まれ、充実した素晴らしい山行であった。

(記：杉森英二)



## 8月2日(土) 曇り後晴れ

【コース】 劔御前小屋(6:30)～別山(7:00)～真砂岳(8:10)～富士の折立(9:08/25)～大汝山(9:50)～雄山(10:25/40)～一ノ越(11:20/35)～室堂(12:20/40)⇒(バス)⇒弘法(13:05)～称名滝(15:55)⇒(バス)⇒立山駅・千寿荘(16:20)



今日は山旅の最終山行である。足が張り腕や胸も筋肉痛になっている。霧が重くのしかかっている中、劔御前小屋を後にする。別山までは30分ほどで着く。徐々に雲が切れて視界が開けてくる。尾根道がくっきりと見えてきて立山連峰が姿を現す。行き交う人も増えてきて、中・高生のパーティーが行列を作っていた。真砂岳の頂上が分かりにくく、既に通り過ぎていたことが分かった。さらに尾根道を歩くこと1時間、富士の折立に着き、頂上の岩山にチャレンジする。標高は劔岳と同じ2,999mである。空は青く、さえぎるガスはなく眺望は最高である。続いて大汝山に着く。室堂や大日

岳の展望がいい。頂上の3,015mの岩はスルーし、最後の雄山に向かう。雄山は人でごった返している。小学生の団体もいた。頂上にある立山雄山神社でお祓いをしてもらう。日本三霊山の一つであり、富山県では大人になるために立山に登拝するのが習わしになっている。雄山を下山し始めるが、人が行列をなしておりスローペースでしか下れない。一ノ越では軽く昼食を済ませて室堂へ向かう。日差しが強くなり暑い。

最後に、落差が日本一といわれる称名滝を見るために室堂からバスに乗る。バス停弘法から山道を下る。山道は歩く人が少ないらしく少し荒れていた。苔むす石が多く気を使いながら歩く。下りはすごく長くただただ疲れた。しかし、滝の近くに行って滝のしぶきを浴びると気持ちがよく生気が蘇った。さあ、これで今回の夏山山行は無事終了だ。宿に行って祝杯を上げよう。

(記：永井章夫)



# 西大和つうしん

第 447号 (2019 年9月号)

2019 年8月 28日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp/>